

ドリーム戦 11月20日(初日) 第12レース 出場予定選手

●2018年1月1日～10月31日の獲得賞金額上位6名。 ●成績は2018年10月31日現在。

1号艇 2018年獲得賞金 **126,377,500円** (選出1位)

4238 毒島 誠

A1 群馬 34歳

ぶすじま まこと
1984年1月8日生まれ。群馬支部・92期。2003年5月、桐生でデビュー。10年1月、浜名湖・新鋭王座決定戦でG I初優勝。13年8月、丸亀・メモリアルでSG初優勝。通算SG優勝4回、G I優勝8回。

2号艇 2018年獲得賞金 **84,284,800円** (選出2位)

4024 井口 佳典

A1 三重 41歳

いぐち よしのり
1977年8月22日生まれ。三重支部・85期。1999年11月、津でデビュー。2006年3月、住之江・周年記念でG I初優勝。08年5月、平和島・オールスターでSG初優勝。通算SG優勝6回、G I優勝13回。

3号艇 2018年獲得賞金 **83,636,000円** (選出3位)

4320 峰 竜太

A1 佐賀 33歳

みね りゅうた
1985年3月30日生まれ。佐賀支部・95期。2004年11月、唐津でデビュー。09年1月、芦屋・九州地区選手権でG I初優勝。17年7月、丸亀・オーシャンカップでSG初優勝。通算SG優勝1回、G I優勝8回。

4号艇 2018年獲得賞金 **75,256,000円** (選出4位)

4013 中島 孝平

A1 福井 39歳

なかじま こうへい
1979年11月8日生まれ。福井支部・84期。1999年5月、三国でデビュー。2007年7月、三国・MB大賞でG I初優勝。10年12月、住之江・グランプリでSG初優勝。通算SG優勝2回、G I優勝6回。

5号艇 2018年獲得賞金 **75,036,300円** (選出5位)

3721 守田 俊介

A1 滋賀 43歳

もりた しゅんすけ
1975年8月12日生まれ。滋賀支部・74期。1994年5月、びわこでデビュー。2003年2月、びわこ・近畿地区選手権でG I初優勝。15年10月、浜名湖・ダービーでSG初優勝。通算SG優勝2回、G I優勝4回。

6号艇 2018年獲得賞金 **63,911,000円** (選出6位)

4019 笠原 亮

A1 静岡 38歳

かさはら りょう
1980年1月19日生まれ。静岡支部・84期。1999年5月、浜名湖でデビュー。2005年4月、びわこ・周年記念でG I初優勝。05年3月、多摩川・クラシックでSG初優勝。通算SG優勝2回、G I優勝5回。

毒島時代の幕開けとなるか!?

選手間でも話題で持ち切りとなっている「飛ぶピット離れ」による変幻自在なコース取りと、体幹を鍛えに鍛え上げたフィジカルの強さでサイドをかけずにボートを乗りこなす型破りなレーススタイルを完全に確立した。その相乗効果は凄まじく、7月平和島周年、10月鳴門周年を優勝。若松オーシャンカップと丸亀メモリアルでSG連覇達成。獲得賞金ランキングも、2位以下を大きく引き離すぶっちぎりの1位を記録と、誰もが認めざるを得ない「毒島時代」を築きつつある。

平成最後のグランプリ覇者への道を最短距離で突っ走る男の快進撃は、この舞台を勝つてこそ価値が高まる。



全国最近6ヵ月 & 芦屋3年成績	勝率	1着	2着	3着	平均ST
全国	8.33	53	18	21	0.14
芦屋	7.98	17	8	5	0.18

2018年SG成績

3月 浜名湖 クラシック	4	5	2	1	6	6	1	2	6	
5月 尼崎 オールスター	2	3	5	4	2	0	1	5	6	1
6月 徳山 グラチャン	5	2	2	5	3	2	4	1	4	
7月 若松 オーシャンC	3	3	4	1	3	2	1	1	1	
8月 丸亀 メモリアル	3	1	1	1	1	1	1	1	1	
10月 蒲郡 ダービー	5	6	3	2	1	4	1	1	2	

2018年G I・G II優勝レース

7月 平和島 G I・周年
10月 鳴門 G I・周年

リミッターを外して限界突破!

ファンから圧倒的な支持を集めたスリットオーバーを恐れない「プチ込み王子」のアツい走りは年齢と経験を重ねるとともに卒業。手堅く着をまとめる大人のレーススタイルへと変化したが、自らが「勝負のレース」と位置づけた浜名湖クラシック優勝戦で見せた2コースからの意表を突くジカ捲りは圧巻だった。リミッターを解除したこの攻撃的なレースこそが井口の真骨頂であることは間違いない。

銀河系85期の一番星が見据えるのは2回目のグランプリ優勝だが、その道標としてチャレンジCのタイトルは是が非でも欲しい。再びリミッターを解除する姿を多くのファンが待ち望んでいる。



全国最近6ヵ月 & 芦屋3年成績	勝率	1着	2着	3着	平均ST
全国	7.70	40	38	16	0.14
芦屋	7.75	3	3	4	0.13

2018年SG成績

3月 浜名湖 クラシック	1	2	2	2	2	1	1		
5月 尼崎 オールスター	5	4	1	4	2	5	2	1	2
6月 徳山 グラチャン	不出場								
7月 若松 オーシャンC	6	4	3	6	2	1	失	1	5
8月 丸亀 メモリアル	3	2	2	2	2	1	1	1	4
10月 蒲郡 ダービー	3	4	2	3	2	1	2	4	

2018年G I・G II優勝レース

芦屋4連覇&2nd1 枠狙う!

走攻守を備えた万能型レーサー。引いたモーターや展開に左右されるボートレースは誰が一番強いのかはわかりにくい。しかし、多くのファンや選手間ではパウンド・フォー・パウンド(王者の中の王者)は峰だと言う声が多い。徳山グラチャン、若松オーシャンカップ、丸亀メモリアルは準優で不運な負けが続く、唯一の泣き所といえるメンタル面の弱さが出てしまったが、多摩川周年で優勝し、周囲の不安を一掃した。

グランプリ制覇への近道となるトライアル2nd初日1号艇獲得には優勝が欲しいが、芦屋は周年V2を含めて3連覇中の実績ある水面だ。SG優勝で芦屋4連覇を決める!



全国最近6ヵ月 & 芦屋3年成績	勝率	1着	2着	3着	平均ST
全国	8.35	53	25	24	0.13
芦屋	8.33	21	10	5	0.13

2018年SG成績

3月 浜名湖 クラシック	5	2	4	1	2	2	2	2	4
5月 尼崎 オールスター	1	3	2	0	3	0	3	0	3
6月 徳山 グラチャン	4	1	2	3	4	1	失	(帰郷)	
7月 若松 オーシャンC	5	1	1	2	1	3	5	0	1
8月 丸亀 メモリアル	1	2	4	1	2	6	6	3	
10月 蒲郡 ダービー	1	3	3	5	2	3	3	4	

2018年G I・G II優勝レース

6月 下関 G I・周年
8月 多摩川 G I・周年

2度目の頂点へ、パワー勝負!

2コースからインの濱野谷憲吾を捲って「アツと驚く」優勝を飾った10年のグランプリ。それ以降はSG優勝から遠ざかって、どちらかと言えばパイプレイヤー的な存在だったが、5月の尼崎オールスターで8年ぶりにSG優勝。復活を果たして再びボートレース界の頂点に立つ挑戦権を得た。

中島のレースは、モーターの性能をMAXまで引き出して押し切るスタイル。モーター競技のボートレースでは最もスタンダードだが、最も有効な戦法だ。鬼門とも言われる2つ目のSGを獲り、パイプレイヤーの殻を破った中島なら、3つ目のSGタイトルにも易々と手が届きそうな気がしてならない。



全国最近6ヵ月 & 芦屋3年成績	勝率	1着	2着	3着	平均ST
全国	7.22	44	30	31	0.14
芦屋	7.24	6	9	6	0.14

2018年SG成績

3月 浜名湖 クラシック	不出場								
5月 尼崎 オールスター	3	2	0	1	2	1	1	1	1
6月 徳山 グラチャン	1	3	4	5	5	3	1	4	6
7月 若松 オーシャンC	4	5	2	5	4	6	6	5	
8月 丸亀 メモリアル	5	2	1	3	4	5	3	1	3
10月 蒲郡 ダービー	6	6	4	2	6	3	3	3	

2018年G I・G II優勝レース

本気になった天才の走り必見!

10月に蒲郡で開催されたダービーでは、強力パワーの33号機を手に、インから圧倒的な強さで優勝した。普段はなかなか展示タイムが出ない守田だが、ダービーでは展示1番時計を連発していた。優勝戦では「節イチ」宣言をして、節イチの走りで見事に人気に応えた。プレッシャーもなかったと言う。賞金順位は、これで一気にジャンプアップした。

年末のグランプリに関しては「前回出られたときは消化不良でした。次は違う僕を見せられたらと思います」とコメントしている。トライアル2ndからスタートするためにも、賞金順位をしっかりとキープしたい。本気になったときの守田の走りは天才的だ。



全国最近6ヵ月 & 芦屋3年成績	勝率	1着	2着	3着	平均ST
全国	7.84	58	27	12	0.12
芦屋	7.70	16	8	6	0.14

2018年SG成績

3月 浜名湖 クラシック	不出場							
5月 尼崎 オールスター	5	4	6	6	4	4	2	4
6月 徳山 グラチャン	3	6	3	1	2	5	2	1
7月 若松 オーシャンC	不出場							
8月 丸亀 メモリアル	4	5	6	4	4	3	4	6
10月 蒲郡 ダービー	1	1	4	1	2	2	1	1

2018年G I・G II優勝レース

9月 びわこ G I・周年

エクスポージョンターンが炸裂!

時が流れるのは早い。05年の多摩川クラシックでSG初出場、初優勝の快挙を達成したシンデレラボーイもアラフォー世代に突入。攻めが中心の血気盛んなレーススタイルは影を潜めたようにも思えたが、今年は徳山周年と戸田周年で優勝。全く衰えを見せない爆発力で、3年ぶりとなるグランプリ出場に当確ランプが灯った。

3度目のグランプリで結果を残すためにはトライアル2nd発進、それも好枠でのスタートが絶対ノルマになる。1マークで豪快な弧を描くエクスポージョンターンが、チャレンジカップV2の的に「ズバツ!」と突き刺さる。



全国最近6ヵ月 & 芦屋3年成績	勝率	1着	2着	3着	平均ST
全国	7.15	35	29	15	0.15
芦屋	8.64	16	14	2	0.14

2018年SG成績

3月 浜名湖 クラシック	不出場								
5月 尼崎 オールスター	2	2	2	6	4	0	3	5	5
6月 徳山 グラチャン	4	3	3	1	4	5	1	2	
7月 若松 オーシャンC	5	5	4	6	5	6	失	5	
8月 丸亀 メモリアル	2	1	4	1	2	2	2	4	
10月 蒲郡 ダービー	不出場								

2018年G I・G II優勝レース

1月 徳山 G I・周年
10月 戸田 G I・周年